

水銀の使用削減及び水銀廃棄物の回収・処理に関する検討会(第1回)

# 熊本県の取組、検討事項等について

日時:平成26年6月4日(水)午後1時30分～

場所:ホテル熊本テルサ りんどう・つばき

熊本県環境生活部

環境政策課・廃棄物対策課



# 水銀に関する水俣条約外交会議

日 程 :平成25年10月7日(月)~11日(金)

会 場 :熊本市及び水俣市

参加者 :60ヶ国以上の閣僚級を含む140ヶ国・地域の政府、国際機関、NGO等の  
関係者1,000人以上

概 要 :外交会議の最終議定書が全会一致で採択され、92ヶ国(日本含む)が署名。  
水銀に関する水俣条約は、今後、50カ国が締結してから90日後に発効。  
(平成26年6月1日現在、署名98ヶ国、締結1ヶ国(米国))



開会記念式典(10月9日 水俣市)



外交会議(10月10日、11日 熊本市)

# 水俣条約の主な内容(1)

(本会議に関係する箇所を抜粋)

## 水銀供給源と貿易(3条)

- 水銀の貿易(金属水銀が対象)について、水銀の輸出は、
  - 1) 条約上で認められた用途、
  - 2) 環境上適正な保管(第10条)に限定。
- 水銀の輸出に当たっては、輸入国の書面による事前同意が必要。

これまで水銀含有製品の多くは、金属水銀等にリサイクルされ、海外に輸出されてきたが、今後は輸出が難しくなり、廃棄物になると考えられる。

## 水銀添加製品(4条・6条)

- 附属書Aに記載された水銀含有製品について、2020年までに製造、輸出、輸入を原則禁止。
- 歯科用アマルガムについて、使用を削減。

### (附属書A)

- 電池※
- スイッチ及びリレー※
- 一定含有量以上の一般照明用蛍光ランプ※
- 一般照明用高圧水銀ランプ
- 液晶ディスプレイ用の冷陰極蛍光ランプや外部電極蛍光ランプ※
- 石鹼及び化粧品※
- 農薬、殺虫剤及び局所消毒剤
- 非電化の計測機器(気圧計、湿度計、圧力計、体温計、血圧計)※

(※一部を除く)

# 水俣条約の主な内容(2)

(本会議に関係する箇所を抜粋)

## 大気への排出(8条)

- 石炭火力発電所、産業用石炭燃焼ボイラー、非鉄金属精錬施設、廃棄物焼却施設、セメントクリンカーの製造施設を対象に、排出削減対策を実施。

## 暫定的保管、水銀廃棄物(10条、11条)

- 水銀・水銀化合物の暫定的保管は、締約国会議で作成されるガイドライン等に従って、環境上適正に実施。
- 水銀廃棄物は、バーゼル条約※に基づくガイドラインを考慮し、また締約国会議が定める必須条件に基づいて、環境上適正に管理。

※バーゼル条約:有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約

---

## 水銀又は水銀化合物を使用する製造工程(5条) (参考)

- 塩素アルカリ工業及びアセトアルデヒド製造施設を対象に、製造工程における水銀の使用を禁止。
- 塩化ビニルモノマー、ポリウレタンなどの製造プロセスでの水銀使用を削減。

# 水銀フリー熊本宣言

- ◆ 外交会議の開会記念式典において、「水銀フリー熊本宣言」を行った  
(平成25年10月9日)



I would also like to take this opportunity to make a promise. As the governor of Kumamoto Prefecture, I want Kumamoto to lead by example. I declare today that, no matter how long it takes, we will work tirelessly to realize a mercury-free society that avoids the use of mercury. I will call this promise the Mercury-Free Kumamoto Declaration.



水銀フリー社会の実現に向けて、熊本県が先導的に  
取組を行う

# 水銀フリー社会実現に向けた熊本県の取組

## 【目標】

国内外における「水銀フリー」社会の実現

## 【課題】

- 水銀削減に関する理解、代替製品の普及
- 水銀廃棄物の回収、処理、長期保管方法の確立
- 国外における人材育成

## 【必要な施策】

- 水銀削減に関する理解促進、代替製品への転換促進
- 回収・処理・保管の各段階における水銀管理の適正化
- 国内外における水俣条約の意義等の理解促進
- 国外の水銀専門家の育成

## 【熊本県の取組】

### ①水銀の使用削減等に関する検討会の開催

- 水銀削減、代替製品促進
- 水銀含有廃棄物の適正処理の推進
  - ・県内における水銀の使用、保管、廃棄状況等調査
  - ・水銀マテリアルフロー作成

### ②国内外への情報発信

- ・国際会議等における水俣病語り部の講話等
- ・県民セミナー開催等

### ③水銀研究留学生への支援

- ・連携大学院において、水銀研究留学生に対する奨学金制度の創設

# 本検討会の進め方(案)

目的: 熊本県が実施する水銀フリーに関する施策の基本的方向性について検討する

## 第1回検討会

### 水銀含有製品・廃棄物把握

〔どのような製品・廃棄物に水銀が含まれているか把握〕

- ・電池
- ・スイッチ及びリレー
- ・電球類(蛍光ランプ等)
- ・化粧品
- ・農薬
- ・医薬品
- ・計測器(非電化)  
(気圧計、湿度計、圧力計、  
温度計、血圧計)
- ・無機薬品(試薬、銀朱等)
- ・原料、燃料

## 回収・処理方法等検討

### 第1回検討会

- ・水銀現況調査内容を検討
- ・今後の検討会の進め方を整理

### 第2回検討会

- ・現状の回収・処理と他事例の解析
- ・水銀削減(代替製品への転換含む)、回収、  
処理、保管方法の検討

### 第3回検討会

- ・水銀現況調査の解析
- ・提言項目と着眼点の整理

### 第3回検討会 第4回検討会

国、県、市町村、事業者、県民が  
取り組むべき事項を整理

### 第4回検討会

検討会提言



# 検討会のスケジュール(案)

## ●第1回検討会(6月4日(水)開催)＜検討事項や今後の進め方の整理＞

- ①検討会の目的、水俣条約の概要、熊本県の取組み、検討会の進め方等の説明
- ②H26水銀現況調査の概要説明
- ③検討事項・今後の進め方等について整理

## ●第2回検討会(7月～8月開催予定)＜現状の水銀含有廃棄物の回収・処理方法の課題等を整理＞

- ①水銀現況調査の進捗状況の説明
- ②現状の一般的な水銀含有廃棄物の回収・処理方法と他の特徴的な回収・処理方法説明
- ③水銀削減(代替製品への転換含む)、回収、処理、保管方法の検討

## ●第3回検討会(10月開催予定)＜水銀現況調査中間結果の分析及び提言項目等の整理＞

- ①水銀現況調査の中間報告
- ②提言項目と着眼点の整理

## ●第4回検討会(2月開催予定)＜提言まとめ＞

- ①水銀調査結果の報告
- ②提言まとめ(水銀フリー社会の実現に向けた課題を把握し、各主体(国・県・市町村・事業者・県民)が取り組むべき事項をまとめる)